

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
中央工学校 O S A K A	昭和61年3月31日	中野 吉晟	〒561-0872 大阪府豊中市寺内一丁目1-43 (電話) 06-6866-0800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 中央工 学校	昭和39年3月27日	堀口 一秀	〒114-8543 東京都北区王子一丁目26-17 (電話) 03-3906-1211			
目 的	工業分野に従事しようとする者に、企業との連携の上で実務性の高い専門知識及び技術・技能を修得させるとともに志操堅実な技術者を育成する事を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課 程	インテリアデザ イン科	2年(昼)	2,664単位時間 (又は単位)	平成7年文部科学 省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	846単位時間 (又は単位)	1,818単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	44人	2人	28人	30人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 試験、実習、出席学習態度の総合 的評価	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■春 季：4月1日～4月10日			卒業・進級条件	履修すべき全科目に合格 卒業課題の提出・合格 履修期間の出席率が80%以上 所定の費用を全納している	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 補習授業等			課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動 (有) 無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建築・インテリア業界 ■就職率 <sup>※1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 87.5% ■その他 (任意) (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の 情報)			主な資格・検定	建築士受験資格、建築施工管理技士受 験資格、CAD利用技術者検定、福祉 住環境コーディネーター、色彩検定 他	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 10.0%</p> <p>平成28年4月1日在学者 30名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 26名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、病気・けが</p> <p>■中退防止のための取組 担任面談による指導、入学前の進路確認、保護者懇談会</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: URL: <a href="http://www.chuoko-osaka.ac.jp/">http://www.chuoko-osaka.ac.jp/</a></p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門学校は「職業もしくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教育の向上を図る」ことにある。本校は、建築系専門学校として100年余の歴史と伝統のある中央工学校のグループ校で、工業技術教育を行う専門学校として技術者の育成を行っているが、広く社会の要請に応じた組織的な教育を行うためには、企業等との連携は欠かせない。専門課程の教育内容に適した企業との連携により、実践的な職業教育水準の維持向上に努める。特に教科構成や実習・演習の実施、教員研修について、企業等の意見を反映させるように取り組む。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
小松原 学	富士教育訓練センター校長
猪木 陽子	一般社団法人関西インテリアプランナー協会副会長
堀越 保幸	日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社 建設事業部技術部建築設計技術グループ長
山田 恭子	パナホーム株式会社営業設計部営業設計企画室リーダー
内田利恵子	建築設計室Morizo代表
沖 清忠	インカー・ドローイング株式会社マネージャー
田尻 元子	株式会社ジー・プラン設計室室長

### (開催日時)

- 平成27年度 第1回 平成27年 9月30日(水) 18:15~18:50
- 第2回 平成28年 2月12日(金) 14:55~17:30
- 平成28年度 第1回 平成28年 9月30日(金) 18:30~19:10
- 第2回 平成29年 2月10日(金) 15:00~17:30

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実習・演習等は専門学校教育の根幹をなす重要なものである。よって、常に最新の技術を指導する必要があり、そのために学校と企業等が密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。

連携を行う企業とは、雇用契約書を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
建築・インテリアデザイン演習	色彩・レイアウト等グラフィックデザインの基礎を理解させ、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得させる。	コラムデザインセンター ナカヒラアーキテクツ
CAD演習 I	現在の建築技術者にとってITスキルは不可欠であるため、その一つとしてCADによる図面作成技術を業界で最も使用されているソフトを用いて習得させる。	コラムデザインセンター ナカヒラアーキテクツ
ベーシックデザイン演習 I	さまざまな単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、イメージの空間化やプレゼンテーションの能力を養う。	岡建築デザイン事務所 東部淳一建築設計室
レンダリング演習 I	立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得させる。	岡建築デザイン事務所 Atelier-NAGI
ライティングデザイン演習	照明器具及び照明計画の基礎事項を理解させるとともに、住空間・商業空間に効果的に活用できる方法を身に付けさせる。	株式会社ヤナセライティング

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

本校の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業等と連携の上で高度化、多様化する理論及び新技術等について研修に努めなければならない。

校長に承認を得た者は企業等と連携の上で、校外研修(長期研修・短期研修)及び特別研修を行うことができる。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
小松原 学	富士教育訓練センター校長
猪木 陽子	一般社団法人関西インテリアプランナー協会副会長
堀越 保幸	日鉄住金テックスエンジニア株式会社 建設事業部技術部建築設計技術グループ長
山田 恭子	パナホーム株式会社営業設計部営業設計企画室リーダー
内田 利恵子	建築設計室Morizoー代表
沖 清忠	インカー・ドローイング株式会社マネージャー
田尻 元子	株式会社ジー・プラン設計室室長

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.chuoko-osaka.ac.jp](http://www.chuoko-osaka.ac.jp)

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法)

ホームページ・教職員会議にて平成28年度教育基本方針を配布

授業科目等の概要

(工業専門課程インテリアデザイン科) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次 学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
	○		カラーコーディネート	文部科学省認定のA・F・T色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。	1 前後	106		○		
	○		カラーコーディネート	文部科学省認定のA・F・T色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。	2 前後	106		○		
	○		福祉住環境コーディネーター	東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。	1 前後	(106)		○		
	○		福祉住環境コーディネーター	東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。	2 前後	(106)		○		
	○		IT利用技術	社団法人コンピュータソフトウェア協会のCAD利用技術者試験2級に合格できる能力を身に付けさせる。	1 前後	(106)		○		
	○		IT利用技術	社団法人コンピュータソフトウェア協会のCAD利用技術者試験2級に合格できる能力を身に付けさせる。	2 前後	(106)		○		
	○		建築施工管理技術	2級建築施工管理技術検定試験を合格を目標にして、入学してから学習した建築全般(計画・法規・構造・施工)の知識の総復習を行う。	2 前後	(106)		○		
	○		管工事施工管理技術	2級管工事施工管理技術検定試験の合格を目標に管工事に関する基礎知識、専門知識、施工管理、関係法規について修得させる。	2 前後	(106)		○		
○			数学	建築に必要な不可欠な数学の基礎を確実なものとし、数学的思考方法を身に付けさせる。	1 前	36		○		
○			建築・インテリア概論	建築・インテリアの各分野に携わる実務者による講義を通して、建築・インテリア業界の概要、現状を理解させる。	1 前	36		○		

○			建築史 I	日本建築及び西洋建築の発展過程を理解させ、建築技術者に必要な建築的知識を身に付けさせる。	1 前	36		○		
○			構造力学 I	建築物の骨組みに作用する反力の働きを理解させるとともに、部材内に流れる力(応力)の求め方を習得させる。	1 前	36		○		
○			建築構造 I	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。	1 前	36		○		
○			建築・インテリア基礎製図演習	木造における一般図や詳細図の基本事項をトレースを通じて習得させ、製図技法や表現能力を身に付けさせる。	1 前	144			○	
○			建築・インテリアデザイン演習	色彩・レイアウト等グラフィックデザインの基礎を理解させ、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得させる。	1 前	72			○	
○			CAD演習 I	現在の建築技術者にとってITスキルは不可欠であるため、その一つとしてCADによる図面作成技術を業界で最も使用されているソフトを用いて習得させる。	1 前	72			○	
○			ベーシックデザイン演習 I	さまざまな単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、イメージの空間化やプレゼンテーションの能力を養う。	1 前	72			○	
○			レンダリング演習 I	立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得させる。	1 前	72			○	
○			インテリア計画	住まいの基本概念や、住宅設計における生活行為のとらえ方、空間構成、法規等をはじめ、公共空間のマーケティングやインテリア産業について理解させる。	2 前	36		○		
○			デザイン史	デザインの変遷を理解させ、スタイルやテイストを正確にとらえられる能力を養う。	1 後	34		○		
○			インテリアエレメント・建築材料	空間を構成する材料、部材、設備機器などについて、商品知識も含めて、総合的に理解させ、それらを諸条件に適合するよう適切に選択し、トータルに空間提案ができる能力を養う。	1 後	34		○		
○			コンテンツデザイン論	インテリアを取り巻くビジネスについてさまざまな視点から観察、調査し、その仕組みを理解した上で、マーケティングから、企画・プロデュースのプロセスをシュミレーションすることにより、新しい視点と、発想力を育てる。また、ビジネスチャンスを生み出し、商環境の発展に貢献できる感性を養う。	1 後	34		○		

○		建築構造Ⅱ	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。	1 後	34		○		
○		室内環境計画	環境工学、音響工学を理論的・感覚的に理解し、快適、安全で健康的な環境とは何かを考察し、それらをふまえた計画ができる基本的知識を習得させる。その上で、住宅設備機器をどのように取り入れていったらよいかを、その機能や施工法を踏まえて理解させる。	2 前	36		○		
○		インテリア関連法規	建築・インテリアの関連法規の概要をはじめ、実務に必要な部分については、確実に運用できるよう、演習問題に取り組みながら詳細を理解させる。	2 前	36		○		
○		インテリア施工	各種仕上げ工事の施工法及び「施工技術とインテリアデザイン」、「施工法と仕上がり」の関係について理解させ、施工の重要性、面白みを実感させる。また、内・外装材を中心にした実例による演習により、コスト感覚を養い、積算実務の基礎を習得させる。	2 前	36		○		
○		インテリア総論	1年次、2年次前期の内容の復習と整理を含め、関連する研究や見学等を通して、新しい空間提案のあり方を理解させる。	2 後	34		○		
○		プレゼンテーション技術演習	プレゼンテーションの目的や法則（レイアウトや色彩等）を理解させ、イメージを的確に伝達できる技術を養う。	1 後	34			○	
○		インテリア製図演習	図面精度をより高めた製図技術を習得させ、考えながらトレースをする習慣を身に付けさせる。また、住空間、物販店、飲食店の一般図や詳細図の基本事項をトレースさせ、表現能力を養う。	1 後	68			○	
○		ベーシックデザイン演習Ⅱ	さまざまな単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、イメージの空間化やプレゼンテーションの能力を養う。	1 後	68			○	
○		レンダリング演習Ⅱ	立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得させる。	1 後	68			○	
○		インテリアスタイリング演習	住居空間のインテリアプランニングを通して、自由な発想と表現する力を養うとともに、個性を引き出し、コンセプトワークを通して、住居空間デザインの表現力とプレゼンテーション効果を追及する態度を身に付けさせる。	1 後	68			○	
○		ショップデザイン演習	商業空間の設計を通して、自由な発想と表現する力を養うとともに、個性を引き出し、コンセプトワークを通して、商業空間デザインの表現力とプレゼンテーション効果を追及する態度を身に付けさせる。	1 後	68			○	

○			CAD演習Ⅱ	VectorWorksを使って、CADの基本から、精度を高めた製図能力を身に付けさせ、3次元プレゼンテーションへと発展できる技術を養う。	1後	68			○	
○			3次元CAD演習	VectorWorksを用いて、立体や空間のプレゼンテーション力を養う。また、他のソフトとの関連や併用について理解させ、より表現力の高いボードの制作に応用できる能力を身に付けさせる。	2前	72			○	
○			ライティングデザイン演習	照明器具及び照明計画の基礎事項を理解させるとともに、住空間・商業空間に効果的に活用できる方法を身に付けさせる。	2前	72			○	
○			ファニチャーデザイン演習	一般的な家具を理解させるとともに、インテリア製品の実態と現状の学習を通して、家具の設計に必要な基礎知識を習得させる。また、家具の設計における基本的な表現方法（3面図・詳細図）を理解させ、人体系家具・収納系家具の設計を通して、発想豊かな表現力とプレゼンテーション技術を習得させる。	2前	72			○	
○			コンテンツデザイン演習	インテリアデザインビジネスにおける論理的発想による企画・プランニング手法や立案方法を習得させ、一般コンサルティング業務を理解させる。	2前	72			○	
○			ユニバーサルデザイン演習	住宅リフォームにおける営業・設計・積算・施工管理等の業務の流れを理解させ、リフォームビジネスの全般的な知識や技術を習得させる。	2後	68			○	
○			インテリア製図技術演習Ⅰ	1年次に習得した基礎的製図技術を活用して、自ら計画した建物の図面を作成できる能力を養う。	2前	72			○	
○			インテリア製図技術演習Ⅱ	インテリアに必要な家具や内観を描くための技術を定着させ、応用力を身に付けさせる。また、インテリアを魅力的に表現する力を向上させ、空間全体のコーディネートが伝わるように工夫することの重要性を理解させるとともに、インテリアデザインのコンセプトを掘り下げ、具体化する手法を習得させる。	2後	68			○	
	○		卒業制作(インテリアコーディネート/ショップデザイン/家具照明デザイン)	自分がデザインしようとしているものの機能や計画イメージの作り方等を習得させる。また、各自の取り組みたいテーマを決定させ、自分のデザイン事務所を開設するという設定で、テーマを掘り下げる能力を養う。	2前	108			○	



	○		卒業制作(インテリアコーディネート/ショップデザイン)	増改築等の設計課題を通して、今までにない新しい空間を創造したり、主要室を中心に建築・インテリア・ファニチャー・ライティング・テキスタイル・オブジェ等により調和された空間をプレゼンテーションできる能力を養う。	2 後	204			○	
	○		卒業制作(家具・照明デザイン)	用途、素材、構造について調査・研究し、実際に工具、道具を使い、家具作りを体験し、今までにない新しい発想やアイデアを取り入れた家具の作り方を習得させる。また、テーマを各自で設定した家具を中心に建築・インテリア・ファニチャー・ライティング・テキスタイル・オブジェ・レリーフにより調和された空間を提案する能力を養う。	2 後	(204)			○	
	○		トータルコーディネート演習(インテリアコーディネート)	住まい手の個性やライフスタイルをインテリアデザインに反映させることを通して、住まいのあり方を提案できる力を養う。また、すでに学んだプレゼンテーションスキルのレベルアップと五感に訴えることを意識した作品の作り方を習得させる。	2 後	136			○	
	○		ショッププロデュース演習(ショップデザイン)	商業施設の高度な企画・計画力及びプレゼンテーション能力を養う。	2 後	(136)			○	
	○		商品プロデュース演習(家具・照明デザイン)	イメージに合うエレメントを選択して、素材・色・形がどのような影響を及ぼすのかを、モデルやボードを作成して実感させ、商品をよりよく、魅力的に見せるための技術を身に付けさせる。また、多様なバリエーションを理解させ、効果的に空間を演出する技術を養う。	2 後	(136)			○	
	○		アッセンブリーアワー	学校行事やクラス運営に関する事項の伝達ほか、学生が充実した学生生活を送れるように支援する。また、学生の進路の自己実現に向けての自主性を育成するとともに、組織的、継続的な学習や各種小テスト等を通して、学生一人一人の進路の自己実現が図れるように指導する。	1 前後	70			○	
	○		アッセンブリーアワー	学校行事やクラス運営に関する事項の伝達ほか、学生が充実した学生生活を送れるように支援する。また、学生の進路の自己実現に向けての自主性を育成するとともに、組織的、継続的な学習や各種小テスト等を通して、学生一人一人の進路の自己実現が図れるように指導する。	2 前後	70			○	
合計				59 科目	2,664 単位時間 (	単位)				